

岐阜県とその周辺の地震活動

(令和7年2月1日～2月28日)

【概況】

今期間、岐阜県内で震度1以上を観測した地震は5回でした。

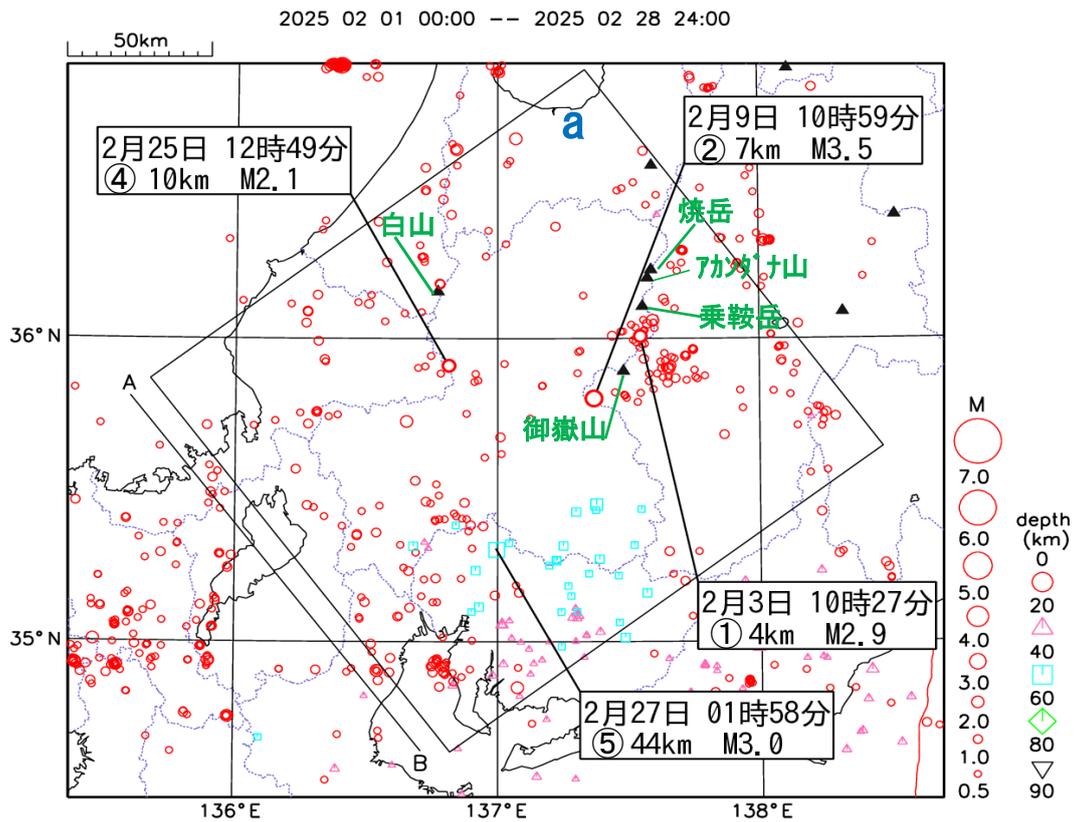
- ① 3日10時27分 岐阜県飛騨地方の地震(深さ4km、M2.9)により、高山市で震度1を観測したほか、長野県で震度1を観測しました。
- ② 9日10時59分 長野県南部の地震(深さ7km、M3.5)により、中津川市で震度3、下呂市で震度2、高山市、郡上市で震度1を観測したほか、長野県で震度2～1を観測しました。
- ③ 24日04時08分 石川県西方沖の地震(深さ9km、M4.9、震央分布図範囲外)により、高山市で震度2、白川村、飛騨市、瑞穂市で震度1を観測しました。また、石川県で震度3を観測したほか、甲信越、北陸、近畿地方にかけて震度2～1を観測しました。
- ④ 25日12時49分 福井県嶺北の地震(深さ10km、M2.1)により、郡上市で震度1を観測しました。
- ⑤ 27日01時58分 愛知県西部の地震(深さ44km、M3.0)により、恵那市で震度1を観測しました。

【各地の震度】

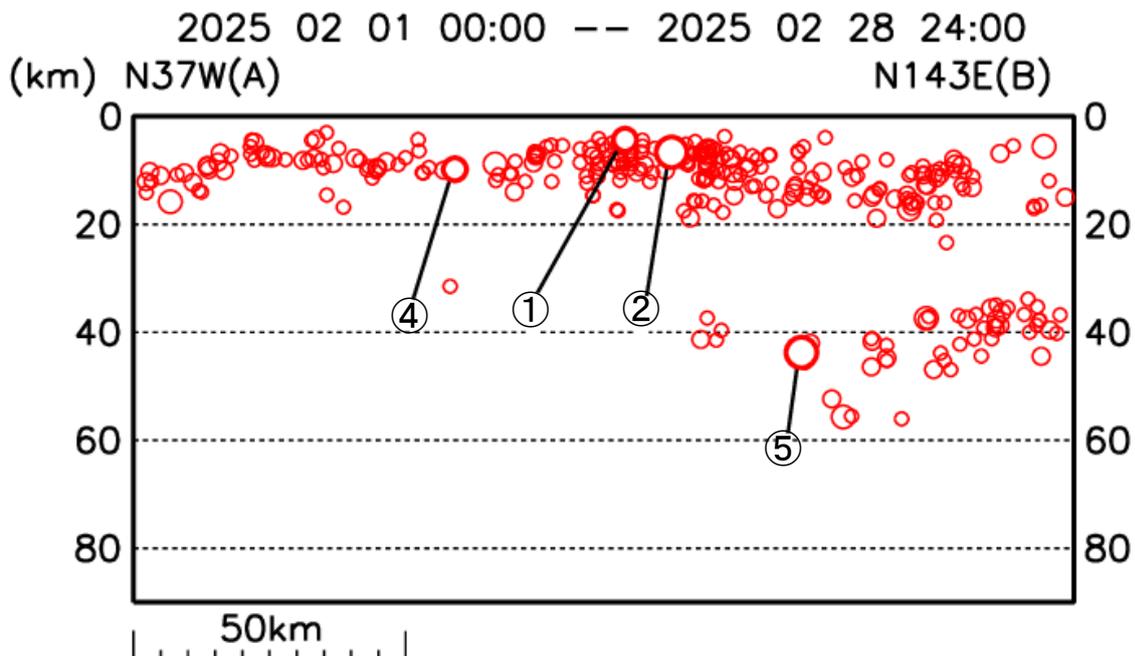
第1表 岐阜県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度

	月日時分	震央地域名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	
①	02月03日10時27分	岐阜県飛騨地方	36° 00.4'	137° 32.7'	4km	M2.9	
							震度 1 : 高山市高根町*
②	02月09日10時59分	長野県南部	35° 48.1'	137° 22.0'	7km	M3.5	
							震度 3 : 中津川市加子母*
							震度 2 : 下呂市森, 下呂市下呂小学校*, 中津川市付知町*
							震度 1 : 高山市久々野町*, 下呂市小坂町*, 下呂市馬瀬*, 下呂市萩原町*, 中津川市小栗山*, 中津川市福岡*, 郡上市和良町*
③	02月24日04時08分	石川県西方沖	36° 55.9'	136° 22.8'	9km	M4.9	
							震度 2 : 高山市上宝町本郷*
							震度 1 : 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*, 高山市丹生川町坊方*, 白川村鳩谷*, 飛騨市神岡町殿, 飛騨市河合町元田*, 飛騨市古川町*, 飛騨市宮川町*, 飛騨市神岡町東町*, 瑞穂市別府*
④	02月25日12時49分	福井県嶺北	35° 54.6'	136° 48.8'	10km	M2.1	
							震度 1 : 郡上市白鳥町長滝*
⑤	02月27日01時58分	愛知県西部	35° 18.2'	136° 59.7'	44km	M3.0	
							震度 1 : 恵那市上矢作町*

*印がついている観測点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

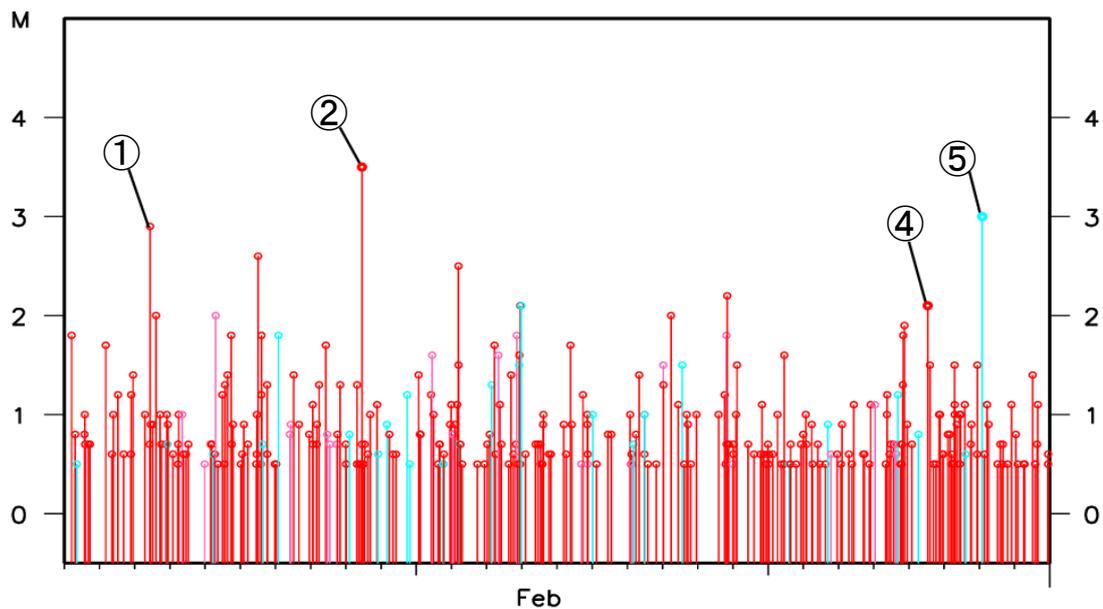


第1図 令和7年2月の岐阜県と周辺地域の震央分布図
 期間：令和7年2月1日～2月28日（深さ90kmまで，M：0.5以上）
 ※図中の丸数字は、第1表で示した地震の番号に対応しています。
 ※図中の ▲ は活火山を示します。



第2図 令和7年2月の第1図領域a内A－B断面図
 (期間：令和7年2月1日～2月28日)

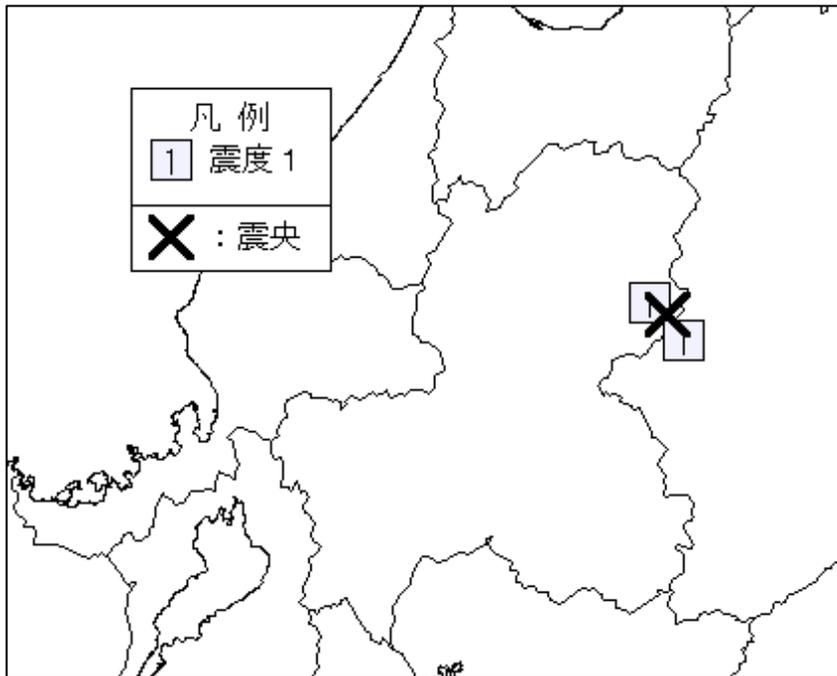
2025 02 01 00:00 -- 2025 02 28 24:00



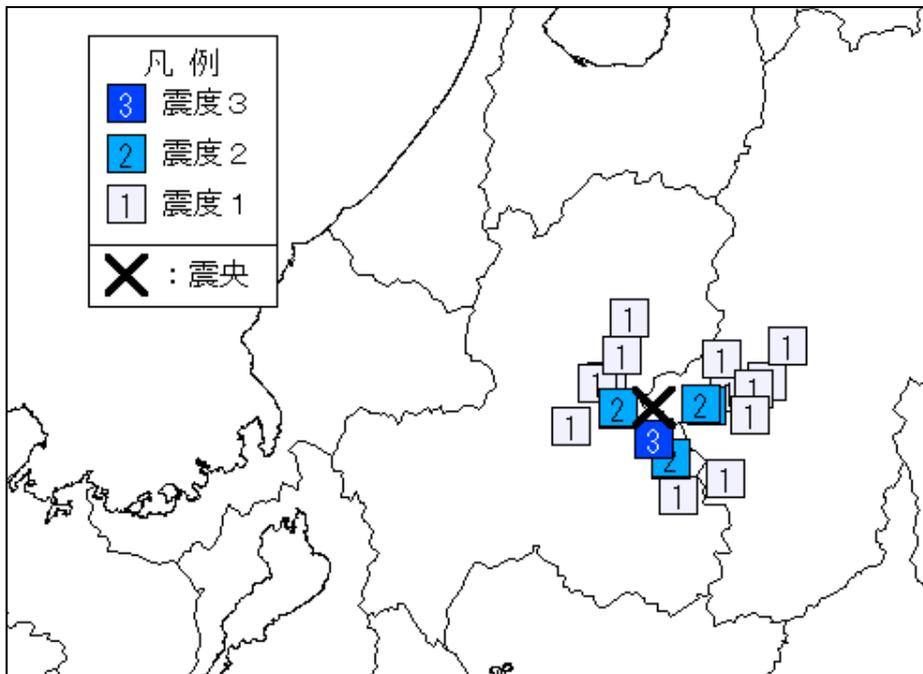
第3図 令和7年2月の地震活動経過図（第1図領域a内）
（期間：令和7年2月1日～2月28日）

【震度 1 以上を観測した主な地震の震度分布図】（×は震央）

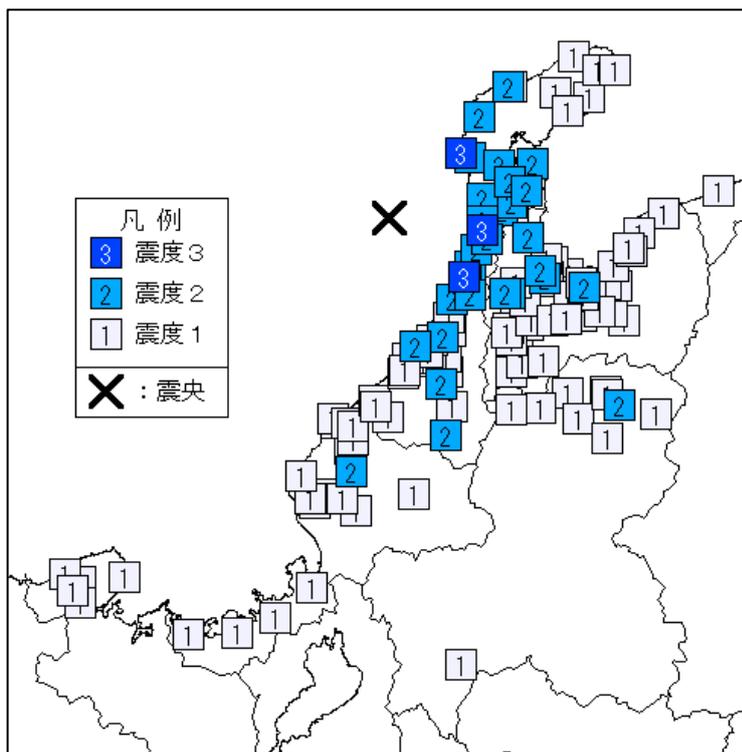
① 3日 10時 27分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ 4 km、M2.9）の震度分布図



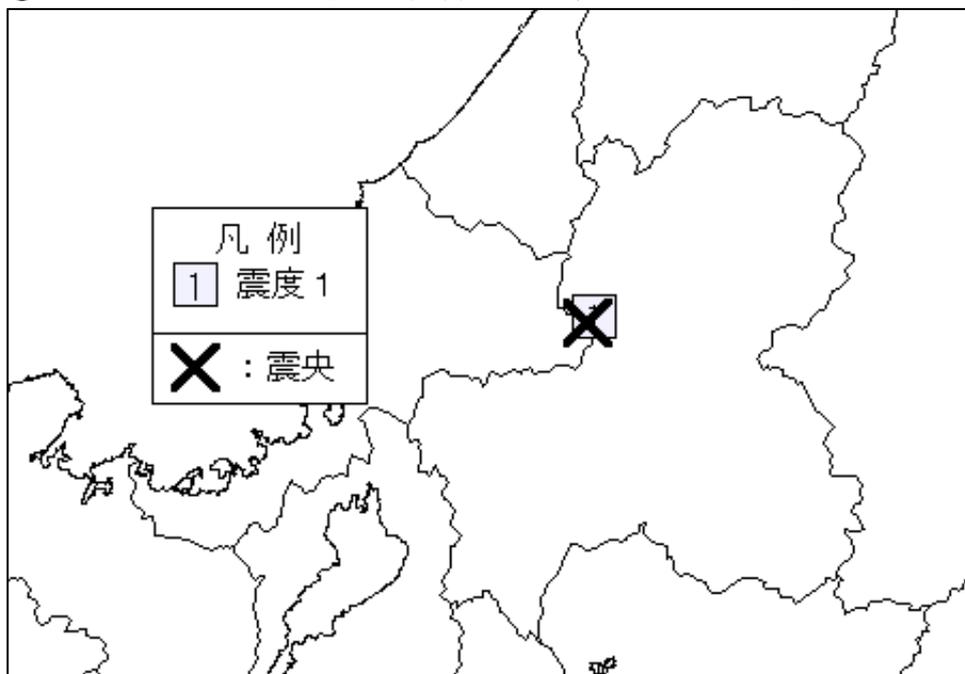
② 9日 10時 59分 長野県南部の地震（深さ 7 km、M3.5）の震度分布図



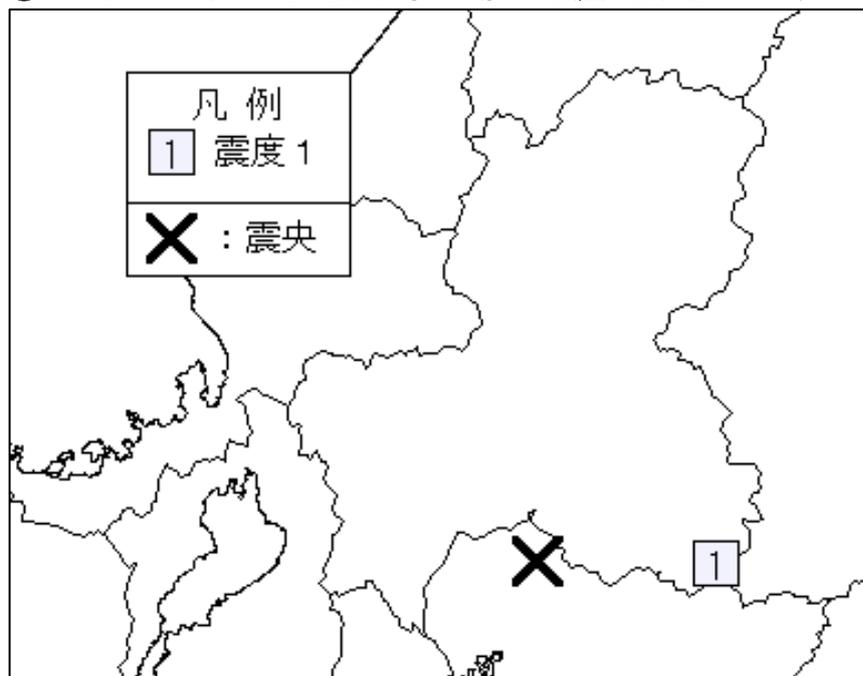
③ 24日04時08分 石川県西方沖の地震（深さ9km、M4.9）の震度分布図



④ 25日12時49分 福井県嶺北の地震（深さ10km、M2.1）の震度分布図



⑤ 27日01時58分 愛知県西部の地震（深さ44km、M3.0）の震度分布図



【最近1年間の月別・震度別地震回数】

第2表 岐阜県内で震度1以上を観測した地震の月別・震度別回数表（令和7年2月28日まで）

震度	令和6年3月	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	合計
1	5	5	7	3	1	4	0	3	17	6	4	3	58
2	0	2	0	4	1	0	0	1	7	0	0	1	16
3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	8	7	7	2	4	0	4	25	6	4	5	78

※過去1年間に、岐阜県内で震度3以上を観測した地震は以下のとおりです。

- ・令和6年3月23日：岐阜県美濃中西部でM4.6の地震が発生し、揖斐川町で震度4を観測しました。
- ・令和6年4月30日：岐阜県飛騨地方でM3.6の地震が発生し、高山市で震度3を観測しました。
- ・令和6年11月26日：石川県西方沖でM6.6の地震が発生し、高山市、白川村、飛騨市、下呂市、養老町、瑞穂市、海津市で震度3を観測しました。
- ・令和7年2月9日：長野県南部でM3.5の地震が発生し、中津川市で震度3を観測しました。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- ・本資料は速報のため、後日の調査により更新されることがあります。
- ・2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。
- ・この資料の問い合わせ先 岐阜地方気象台 防災担当 電話：058-271-4108（平日8:30~17:15）
- ・この地震概況は、岐阜地方気象台ホームページの「岐阜県の地震概況」に、過去の資料とあわせて掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/gifu/shosai/jishin/gaikyo/jishin_gaikyo.html

※南海トラフ地震に関連する情報について

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震について

〇概要

2011年3月11日14時46分に三陸沖（牡鹿半島の東南東約130km付近）で発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（M9.0）では、宮城県栗原市で震度7を観測したほか、東日本を中心に、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。

気象庁は14時49分に岩手県、宮城県、福島県の沿岸に対して津波警報（大津波）を発表するなど、翌12日03時20分までに日本の全ての沿岸に対して津波警報・注意報を発表しました。

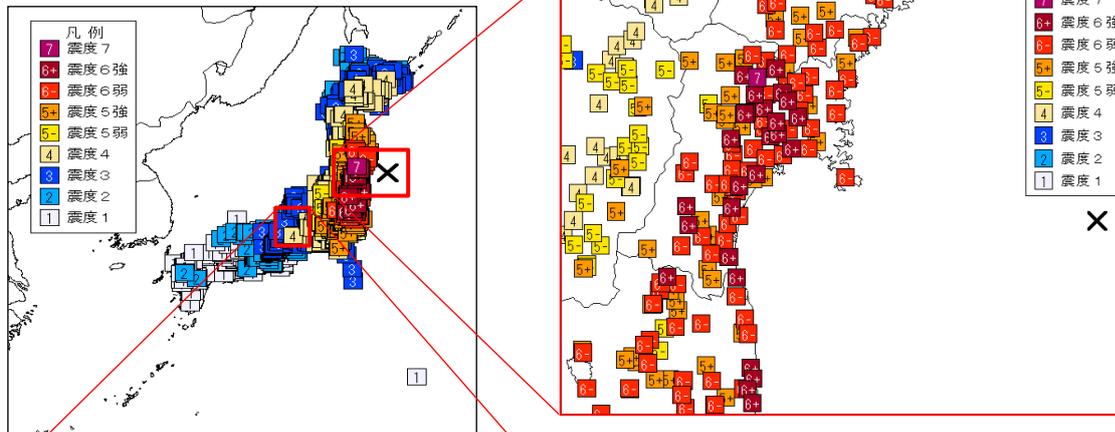
この地震により、日本全国で津波を観測し、太平洋沿岸では高いところで9mを超える津波を観測しました。その後の現地調査で、地点によっては10mを超える津波の痕跡を確認しました。

（内閣府ホームページより抜粋）

地震名	「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」
地震発生時刻	平成23年3月11日14時46分
発生場所（震源の位置）	三陸沖（北緯38度06.2分、東経142度51.6分、深さ24km）
規模（マグニチュード）	9.0（モーメントマグニチュード）
最大震度	7（宮城県栗原市）

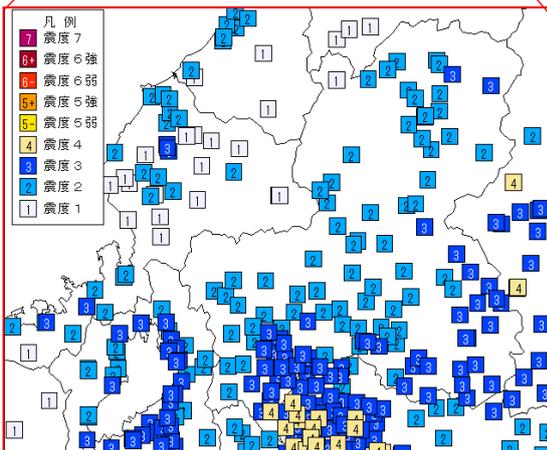
- ・東北地方太平洋沖地震による災害、これに伴う原子力発電所事故による災害については、「東日本大震災」と呼称することとなりました。
- ・モーメントマグニチュード（Mw）は、地震の断層運動の規模（岩盤のずれた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ）に基づいて計算されます。巨大地震についても規模を正確に計算できる反面、地震の規模を推定するのにある程度時間がかかってしまいます。一方、マグニチュード（Mj、単にMとも書く）は、地震波形の最大振幅の値を用いて計算するため速報性に優れていますが巨大地震の場合は規模を正確に計算できません。そのため気象庁では、津波警報・注意報発表には、速報性に優れたMjを用いて発表し、その後Mwを用いて必要に応じて津波警報・注意報の更新をすることを基本運用としています。

<震度分布図> ×：震源



（市町村別表示）

（観測点別表示）



岐阜県内の震度

震度	市町村名（岐阜県）
震度4	海津市
震度3	高山市、下呂市、多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、可児市、岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、岐南町、笠松町、養老町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、瑞穂市、山県市、本巣市
震度2	飛騨市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、関市、美濃市、垂井町、関ヶ原町、揖斐川町、池田町、郡上市
震度1	白川村

（岐阜県周辺を拡大 観測点別表示）

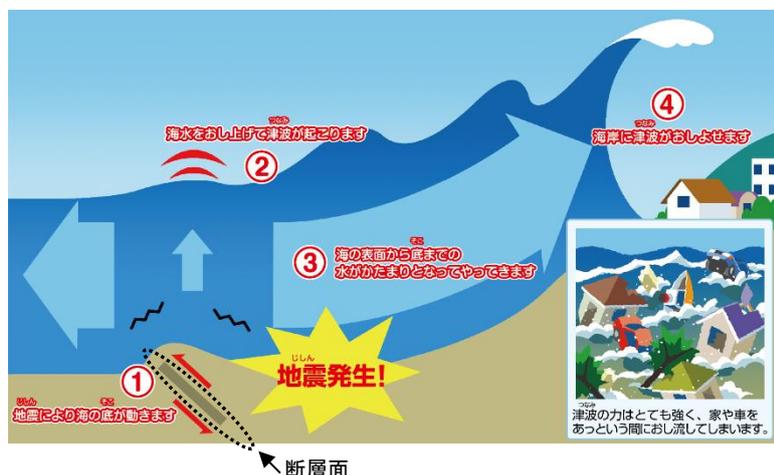
○津波について

<津波発生と伝わり方>

海底で大きな地震が発生すると、断層運動（地下の岩盤に力が加わり、断層面を境に急激にずれる）により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝わるのが津波です。

「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。地震を発生させた地下の断層の傾きや方向によっては、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係によっては、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せる場合もあります。

津波は引き波で始まるとは限らないのです。



<津波警報・注意報>

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報、津波注意報を発表します。その後、「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

	予想される津波の高さ		とるべき行動	避難の範囲
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m 超 (10m < 高さ)	巨大	<p>沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p> <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p>	<p>お住まいの市町村の津波ハザードマップ等で、浸水が想定される区域を確認しておきましょう。</p> <p>また、津波の規模は様々であり、実際には浸水想定を上回る津波が襲ってくることもあるので、最大限の避難を心がけましょう。</p>
津波警報	10m (5m < 高さ ≤ 10m)			
	5m (3m < 高さ ≤ 5m)			
	3m (1m < 高さ ≤ 3m)	高い		
津波注意報	1m (20cm ≤ 高さ ≤ 1m)	(表記しない)	<p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。</p> <p>津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p>	

<マグニチュード8を超える地震の場合>

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐに把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。これにより、津波を小さく予想することを防ぎます。

この時、最初の津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」、「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。



到達予想時刻・予想高さ		
大津波警報 (予想高さ)		
〇〇 県	津波到達中と推測	巨大
×× 県	10時30分	巨大
:	:	巨大
津波警報		
△△ 県	11時00分	高い
□□ 県	12時00分	高い



津波警報が出たら一刻も早く避難！
「巨大」「高い」は非常事態！東日本大震災のような津波が来ると思って！

＜津波フラッグについて＞

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。

「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになります。

海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

津波警報等が出たら

知る手段 津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話等で知ることができます。知る手段に、令和2年夏より新しく「津波フラッグ」が加わります。海岸で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難しましょう。
*津波警報等は、大津波警報・津波警報・津波注意報の総称です。

津波！
 らせび
 今すぐ避難！
 テレビ
 津波フラッグ
 海水浴場等で知らせる
 サイレン
 携帯電話

【津波フラッグのデザイン】
 津波フラッグ(赤白格子模様の旗)は、国際信号旗の「真紅の海浜に色無あり」を意味するシグナルと同様のデザインです。シグナルは、海外では海からの緊急通報を知らせる旗として多く用いられています。ただし、シグナルは、他の国際信号旗と組み合わせることで別の意味になることがあります。

情報種類	津波注意報	津波警報	大津波警報
定性		高い	巨大
予想される津波の高さ	1m (0.2m-1m)	3m (1m-3m)	5m (3m-5m) / 10m (5m-10m) / 10m超 (10m-)

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません！

津波避難経路の標識の例
 津波避難ビル
 津波水地域標識の例
 津波注意
 津波警報等を伝える旗
 津波フラッグ



海岸で津波フラッグを振っているイメージ
 (公益財団法人 日本ライフセービング協会提供)
 旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。